

1. 基本情報

事務事業名	03 郷土博物館事業				事業類型	その他					
予 算	会計	10	一般会計	款	10 教育費	項	04 社会教育費	目	03 郷土博物館費	予算額	1,118 千円
長期計画	章	4 文化・交流活動がいきづくまち			施策分野	2 歴史・文化・芸術	基本施策	(1) 文化遺産の魅力を生かしたまちづくりの推進			
関連計画	実施計画	事業番号・事業名									
根拠法令等											

2. 事業の目的

対象（誰を・何を）	博物館講座参加者	目的（どういう状態にしたいのか）	郷土の歴史や民俗、自然、文化財等のテーマについて講座を開催し、文化財等の啓蒙と知識を取得する。
-----------	----------	------------------	---

3. 事業の指標と単位当たりコスト

成果指標	指標の説明（考え方・算出方法）	単位	区分	29 年度	30 年度 A	平成31年4月1日現在人口	対前年度 B-A	市民1人当たりコスト(b/人口)
						133,574 人		
博物館講座参加者数	講座参加者数	人	目標		150	元 年度 B	150	0.0
			実績	167	142	168	26	73.2 円
			単位コスト	52,252 円	57,141 円	58,232 円	1,091 円	市民1人当たり純行政コスト(f/人口)
			目標					
			実績					
			単位コスト	円	円	円	円	73.2 円

4. 行政コスト計算書

勤定科目					勤定科目				
29 年度決算額	30 年度決算額 A	元 年度決算額 B	対前年度 B-A	29 年度決算額	30 年度決算額 A	元 年度決算額 B	対前年度 B-A		
職員給与費	7,678	7,034	7,055	21	分担金・負担金	0	0	0	
賞与等引当金繰入額	649	621	624	3	使用料・手数料	0	0	0	
退職手当引当金繰入額	0	0	1,141	1,141	その他	1,361	1,661	0	
その他	0	0	0	0	合計 (a)	1,361	1,661	0	
小計	8,327	7,655	8,820	1,165	臨時損失 (c)	0	0	0	
物件費	399	459	963	504	臨時利益 (d)	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	0	臨時損益 (d-c=e)	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	0	純行政コスト(f)=(b-a)-e	7,365	6,453	9,783	
その他	0	0	0	0					
小計	399	459	963	504					
支払利息	0	0	0	0					
その他の業務費用	0	0	0	0					
その他	0	0	0	0					
小計	0	0	0	0					
小計	8,726	8,114	9,783	1,669					
補助金等	0	0	0	0					
その他	0	0	0	0					
小計	0	0	0	0					
合計 (b)	8,726	8,114	9,783	1,669					

(単位：千円)

区 分	29 年度	30 年度	元 年度
有形固定資産減価償却率	-	-	-
受益者負担割合 (a/b)	15.6	20.4	0.0

5. 人員体制

	29 年度	30 年度 A	元 年度 B	対前年度 B-A
職員	0.94	0.84	0.84	0.00
再任用職員	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00
計	0.94	0.84	0.84	0.00

(単位：人)

6. 行政コストの主な事項

	経常費用	経常収益・臨時損益
決算額の主な内訳	講師報償金 50,000円 印刷製本費 292,789円 説明板等作成委託料 42,120円 展示資料運搬等委託料 458,568円	
主な増減理由	物件費等の増額は、企画展「甲冑武具展」にかかる借用資料の運搬に委託料が必要となったため。	令和元年度は退職手当引当金減額分が無かったため

7. 貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目		30年度末 A	元年度末 B	対前年度 B-A	勘定科目	30年度末 A	元年度末 B	対前年度 B-A	
資産の部	有形固定資産	事業用資産	0	0	負債の部	地方債	0	0	
		土地	0	0		退職手当引当金	7,136	6,850	-286
		建物	0	0		その他	0	0	0
		減価償却累計額	0	0		1年内償還予定地方債	0	0	0
		その他	0	0		未払金	0	0	0
		インフラ資産	0	0	賞与等引当金	621	624	3	
		土地	0	0	その他	0	0	0	
		工作物	0	0	合計	7,757	7,474	-283	
		減価償却累計額	0	0	純資産の部	固定資産等形成分	0	0	0
		その他	0	0		余剰分(不足分)	-7,757	-7,474	283
	物品	0	0	合計		-7,757	-7,474	283	
	減価償却累計額	0	0	負債および純資産の部 合計		0	0	0	
	無形固定資産	0	0						
	投資その他の資産	0	0						
流動資産	現金	0	0						
	未収金	0	0						
	徴収不能引当金	0	0						
	その他	0	0						
合計	0	0							

8. 貸借対照表の主な事項

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由		主な増減理由	

9. 事業の評価【一次評価】

30年度末時点の課題事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館講座のテーマによって、参加者数に差がある。</li> <li>郷土博物館内には、講演を行うことができる会議室がないため、講座の会場や日程、時間帯が限定される。</li> </ul>	対応結果	一部解決	事業目的を達成するための元年度事業目標【Plan】	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い年齢層の方々に多く参加していただけるよう、博物館講座のテーマや曜日、時間帯および周知、募集の方法について、引き続き工夫する。</li> </ul>	
事業目標達成に向けた主な活動実績・効果【Do】	<ul style="list-style-type: none"> <li>博物館関連講座について、テーマを多様化し、平成30年度の実施数3講座から令和元年度は5講座へ増やしたことで、また、「青梅のいきもの」展関連講座では、夜間に屋外で生物観察を行うなど新たな取り組みを実施することで、興味を持つ市民の幅を広げ、参加者の増加を図ることができた。</li> </ul>					
視点別事業評価【Check】				事業目標達成度評価【Check】		
【必要性】事業の公共性 市民ニーズ	高い(一定の必要性あり)	【効率性】費用対効果	良い(改善の余地あり)	【有効性】事業目的に対する事業実施の効果	高い(改善の余地あり)	相当程度進展あり
元年度末時点の課題事項【Check】	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の開催場所について、郷土博物館内に講演ができる会議室がないため、検討が必要である。</li> </ul>	今後の方向性【Action】	改善	次年度の取組【Action】	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら博物館講座の実施について検討する。</li> <li>講座の開催場所として新たに市の施設となった吉川英治記念館の研修室の活用等を検討する。</li> </ul>	

10. 行財政改革推進本部評価【二次評価】(対象事業のみ)

評価	<p>講座の開催数を増やし、テーマや開催方法に趣向をこらしたことで、受講者数が前年度より26人増の168人となっている。今後も、市民に対し、青梅市の歴史や文化財等に対する知識を深めてもらうに当たり、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、より多くの市民が参加しやすい講座のテーマや会場の選定、募集および周知方法を検討し、市民にとって魅力ある講座づくりに努め、参加者数の増加を図る必要がある。</p>
----	--